

2 年 SS 発展探究 第 2 回課題研究指導報告

◇日 時:2025 年 10 月 31 日 (金) 5・6 時限

◇場 所:本校理科実験室・ゼミ室・教室・図書館

◇参加者:2 学年探究科学科生徒 79 名・本校教職員

◇助言者:富山大学の先生方 13 名



富山中部高校探究科学科 2 年生は、SS 発展探究という授業の一環として、課題研究指導を受けました。SS 発展探究という授業では、教科毎に生徒が選んだテーマに基づいて探究活動を行っています。今回の指導は、前回 5 月の研究指導からの進捗を報告し、今後の研究に向けて大学の先生方から助言をいただくためのもので、フィードバックを受ける形式で進行了しました。

私たち物理班は、実験の進行においてデータの正確性を追求しています。指導を受けた先生からは、実験手順やデータの取り扱い方について、特に「どのように正確さを保つか」という点について具体的なアドバイスをいただきました。実験の際の誤差を最小限に抑えるための方法や、計測器具の使い方、また、データの取り方に関する細かな指摘があり、これらの助言が今後の実験の精度向上に繋がると感じました。



とを改めて感じました。

また、数学班情報分野の研究では、研究テーマをどのように絞り込み、研究結果をどのように論文に落とし込むかという点についても指導を受けました。特に、研究における「問い」を明確にし、その答えをどう導くかという考え方についてのアドバイスがとても参考になりました。情報の研究は、具体的なデータを取り扱うだけでなく、考え方や発想をどのように研究に結びつけるかが重要であることを改めて感じました。

今回の課題研究指導を通して、自分の研究だけでなく、他の班の研究活動に触れることで新たな気づきが得られました。物理班では、実験の正確性を保つために必要な細かな工夫を学び、今後の実験における精度向上に向けた具体的な手順が見えてきました。一方、情報の研究方法についてのアドバイスでは、研究を進める上での「考え方」や「発想の転換」がいかに大切かを実感しました。

指導を受けた後は、自分たちの研究活動をより一層進める意欲が湧きました。特に、研究の過程においては、細かな点を疎かにせず、常に「どうすればより正確な結果が得られるか」を考えながら進めていくことが大切であると感じました。また、他の班との情報交換を通じて、自分の研究を深めるためのヒントを得ることができました。

この課題研究指導は、単なる研究の進捗報告に留まらず、各自の研究に対する理解を深め、今後の研究に向けての重要な指針を与えてくれる貴重な時間となりました。12 月の三校合同課題研究発表会に向けて、引き続き、指導内容を活かし研究活動を進めていきたいと思っています。

